

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【公開番号】特開2007-330423(P2007-330423A)

【公開日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-050

【出願番号】特願2006-164514(P2006-164514)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域を特別入球口が設けられる第 1 の遊技領域とその他の第 2 の遊技領域とに区画形成する役物と、

前記第 2 の遊技領域に設けられる第 1 の始動口と、

前記第 2 の遊技領域に設けられる第 2 の始動口と、

前記第 1 の遊技領域内への遊技球の進入の確率が高くなるように動作可能な第 1 の可動片と、

前記第 1 の始動口への遊技球の入球の必要条件となる動作を行う第 2 の可動片と、

予め定められた数値範囲内で生成される数である乱数が保持される乱数保持手段と、

前記第 2 の始動口に遊技球が入球されることに基づいて、前記乱数保持手段により保持される乱数に基づいて前記第 2 の可動片の動作契機となる普通当たり図柄についての当落にかかる抽選処理を行う抽選手段と、

前記抽選手段により前記普通当たり図柄が当選されることに基づいて前記第 2 の可動片の駆動制御を行うとともに当該駆動制御に応じた前記第 2 の可動片の動作によって入球可能とされた前記第 1 の始動口に遊技球がさらに入球されることに基づき、前記第 1 の可動片の駆動制御を行う駆動制御手段と、

前記駆動制御手段による前記第 1 の可動片の駆動制御を通じて前記第 1 の遊技領域内に進入した遊技球が前記特別入球口に受け入れられたとき、遊技者にとって有利な特別遊技を行う特別遊技実行手段と、

前記第 2 の可動片の動作契機となる普通当たり図柄についての当落にかかる抽選処理の結果に応じた表示演出を所定の表示部にて行う演出制御手段と、を備え、

前記抽選手段による前記抽選処理の結果には、前記第 2 の可動片が通常の期間において動作するときの動作時間として各々異なる動作時間を示す動作時間情報がそれぞれ対応付けされた複数種の普通当たり図柄が前記第 2 の可動片の動作契機となる普通当たり図柄として含まれ、前記駆動制御手段は、前記第 2 の可動片の駆動制御を行うときは該当する普通当たり図柄の種類に応じた動作時間だけ前記第 2 の可動片が動作するように前記第 2 の可動片の駆動制御を行う遊技機であって、

前記駆動制御手段は、

予め定められた特定の条件が満たされた後の所定の期間中であるか否かを示す期間情報が記憶される期間情報記憶手段と、

前記第2の可動片の駆動制御を行うにあたり、前記期間情報記憶手段に記憶されている期間情報に基づいて前記所定の期間及び当該期間が経過した後の前記通常の期間のいずれの期間中であるかを少なくとも判断するとともに、前記所定の期間中に前記第2の可動片の駆動制御を行うときは該当する普通当たり図柄の種類に応じた動作時間よりも長い動作時間だけ前記第2の可動片が動作するように前記第2の可動片の駆動制御を行う実行手段と、を備える

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記実行手段は、前記所定の期間中に前記第2の可動片の駆動制御を行うときは該当する普通当たり図柄の種類に関わらず、予め定められている動作時間だけ前記第2の可動片が動作するように前記第2の可動片の駆動制御を行うものである

請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記予め定められている動作時間は、前記複数種の普通当たり図柄に各々対応付けされている動作時間情報のうちの最も長い動作時間である

請求項2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

こうした目的を達成するため、請求項1に記載の発明では、遊技領域を特別入球口が設けられる第1の遊技領域とその他の第2の遊技領域とに区画形成する役物と、前記第2の遊技領域に設けられる第1の始動口と、前記第2の遊技領域に設けられる第2の始動口と、前記第1の遊技領域内への遊技球の進入の確率が高くなるように動作可能な第1の可動片と、前記第1の始動口への遊技球の入球の必要条件となる動作を行う第2の可動片と、予め定められた数値範囲内で生成される数である乱数が保持される乱数保持手段と、前記第2の始動口に遊技球が入球されることに基づいて、前記乱数保持手段により保持される乱数に基づいて前記第2の可動片の動作契機となる普通当たり図柄についての当落にかかる抽選処理を行う抽選手段と、前記抽選手段により前記普通当たり図柄が当選されることに基づいて前記第2の可動片の駆動制御を行うとともに当該駆動制御に応じた前記第2の可動片の動作によって入球可能とされた前記第1の始動口に遊技球がさらに入球されることに基づき、前記第1の可動片の駆動制御を行う駆動制御手段と、前記駆動制御手段による前記第1の可動片の駆動制御を通じて前記第1の遊技領域内に進入した遊技球が前記特別入球口に受け入れられたとき、遊技者にとって有利な特別遊技を行う特別遊技実行手段と、前記第2の可動片の動作契機となる普通当たり図柄についての当落にかかる抽選処理の結果に応じた表示演出を所定の表示部にて行う演出制御手段と、を備え、前記抽選手段による前記抽選処理の結果には、前記第2の可動片が通常の期間において動作するときの動作時間として各々異なる動作時間を示す動作時間情報がそれぞれ対応付けされた複数種の普通当たり図柄が前記第2の可動片の動作契機となる普通当たり図柄として含まれ、前記駆動制御手段は、前記第2の可動片の駆動制御を行うときは該当する普通当たり図柄の種類に応じた動作時間だけ前記第2の可動片が動作するように前記第2の可動片の駆動制御を行う遊技機であって、前記駆動制御手段は、予め定められた特定の条件が満たされた後の所定の期間中であるか否かを示す期間情報が記憶される期間情報記憶手段と、前記第2の可動片の駆動制御を行うにあたり、前記期間情報記憶手段に記憶されている期間情報に基づいて前記所定の期間及び当該期間が経過した後の前記通常の期間のいずれの期間中であるかを少なくとも判断するとともに、前記所定の期間中に前記第2の可動片の駆動制

御を行うときは該当する普通当たり図柄の種類に応じた動作時間よりも長い動作時間だけ前記第２の可動片が動作するように前記第２の可動片の駆動制御を行う実行手段と、を備えることを要旨とする。